





# 審 議 経 過

( 1 / 7 )

主な内容は次のとおり (○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ

<佐藤教育長よりあいさつ>

<萩原議長よりあいさつ>

3 議題

(1) 愛川町の教育について

<事務局から説明> 愛川町教育大綱、学校運営協議会制度等について

【質疑なし】

(2) 令和4年度 生涯学習課事業計画について

<事務局から説明> 令和4年度の取組みの概要について

○(委員A) 文化会館での事業再開の説明があったが、ワクチン接種会場としての予定はどうか。

● 文化会館ホールでのワクチン接種はすでに3回目まで終わり、現在、合間期間でホールの利用もあったが、6月下旬から8月下旬の期間で4回目を予定している。その後点検等を行い、5回目のワクチン接種が入らなければ、9月から利用再開となる。

○(委員A) 町内の施設の利用時間の制限等は解除されているのか。

● 三公民館は、通常夜10時までだが、感染状況を見るとともに利用者の声を聞きながら、現在はまだ9時までとしている。他は正常だが、一部の部屋は若干人数制限をしている。文化会館ホールは、これまでは収容人数の50パーセントとして1席空けていたが、現在は国や県等の考え方も、余程飛沫が飛ばない限りは100パーセントでできる状態になっている。ただ、利用者



# 審 議 経 過

( 2 / 7 )

側が心配して50パーセントにしたり、前3列を空けたりするなどのケースはある。

(3) 令和4年度 スポーツ・文化振興課事業計画について

<事務局から説明> 令和4年度の取組みの概要について

○(委員B) 郷土資料館で11月に予定している「愛川町の言い伝え」に興味がある。講師は決まっているのか。

● 講師は学芸員が務める。

(4) 社会教育関係団体の令和4年度事業について

各委員より、所属団体の事業について報告があった。

○(PTA連絡協議会) 町PTA連絡協議会総会はコロナ禍の中で書面審議となったが、4月18

日に新旧の役員会を開き今年度の活動をスタートすることができた。また、来週の20日月曜

日には役員会を開く。子どもたちの健全な育成を図るために、今年度のテーマを「学校・家庭・

地域の連携を求めて～PTAはネットワークのかなめになろう～」と設定した。関係団体との

連携を図りながら、各单位それぞれのPTAの活動を発展させるための取組みを計画している。

母親委員会においては今年度のテーマを「暮らし探検隊」とし元気に活動をしている。それから

最近、PTAの任意加入が問題になっている。任意加入について説明してきたが、日頃からPT

Aの活動にご理解ご協力をありがとうという帯を付けて新入学生の保護者に対して話している。

一部の保護者からは、PTAは任意加入ではないのかと連絡があり、その対応をしているが、町

PTA連絡協議会としては今後とも足並みを揃えて、すべての子どもたちのために保護者一体

となって皆さんと進めていきたい。

○(婦人団体連絡協議会) 前年度の活動は盆踊りのおさらい会など会員同士十分に交流できたと



# 審 議 経 過

( 3 / 7 )

思う。雑巾作りや神奈川県婦人会で推進している折り鶴運動については各学校、保育園に雑巾と折り鶴と交通安全のスローガンを一緒に袋に入れて配り、大変喜ばれた。前年度、半原・高峰婦人会が脱退して、残った中津婦人会だけでこれから活動していく。会員数は減ってしまったが、会員同士の交流や地域の奉仕活動、教育関係の協力など残った会員全力でやっていくつもりなので皆さんのご協力をお願いしたい。

○(子ども会連絡協議会) 11月のふれあいレクリエーションの開催は検討中。学校や地域の協力が必要だが、事前アンケートではそれぞれ不安が大きい。学校によっては、保護者の不安が多い。子ども会の活動は停滞している。一度止めてしまった活動を再開させるのは難しいが、初めて保護者として社会との接点をもつのが子ども会であり、活動を積極的に進めていきたい。

○(青少年指導員連絡協議会) 4月7日に交付式と会議を開き、新たに10名のメンバーを迎え入れ、今年度の活動をスタートさせた。新たな活動としては、今度の土日に青少年健全育成者研修会を開催する。今年度は4講座を開催し、青少年指導員を中心に育成会、PTA、子ども会に声をかけている。講座Ⅰは火おこし、講座Ⅱは科学講座、講座Ⅲはクラフト活動、講座Ⅳはゲームとなっていて研修で学んだことを今後の地域の活動に生かしていってほしい。私は人気の講座Ⅰの火起こしに参加する予定だが、昨年度も参加者が楽しんでいた。7月に予定しているジュニアリーダーのイベントも、午前午後入替制で募集したところ多くの応募がある。まだまだ先の見えにくい状態だが、感染予防を徹底しながら、できる形で活動していきたい。今年度のジュニアリーダーは39名で青少年指導員と交流をとりながら活動していきたい。

○(スポーツ推進委員連絡協議会) 4月7日に委嘱式と第1回スポーツ推進委員会議を行った。今年度は新たに7名の推進委員さんが入れ替わりスタートした。5月15日に町の総合体育大会





# 審 議 経 過

( 4 / 7 )

があり、それに参加協力をしている。7月に普通救命講習会を行う予定。本来3時間の講習になるがコロナ感染防止のため1時間半10名ずつを2回行う予定。9月に第2回スポーツ推進委員会会議を行う予定。下期の活動である2022あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバルやロードレース、町一周駅伝の具体的な内容を委員さんに話す予定。県央地区は10月22日に今年度は清川村で研修会に参加する予定。県は11月23日に横須賀市でのスポーツ推進研修会の参加を予定している。

○(地区健全育成連絡協議会) 4月21日に第1回会議を開催した。今期は全21行政区の内3名の新たなメンバーを迎えてスタートしている。令和4年度の主な事業としては年2回の会議、それから来年1月15日に青少年健全育成大会を開催する予定になっている。実施内容やテーマをどうするか現在アンケートを取りまとめている。その他に年間を通して青少年健全育成に関して各団体と連携を図り、地域のコミュニティ活動や防犯活動を行う予定。新型コロナウイルスの影響で、ここ数年、各地区の様々な行事が延期や中止になっている。子どもたちが地域とふれあう機会が少なくなってきたので、感染対策をしながら一つでも多くの行事ができるよう、うまく工夫して活動していきたい。

○(文化協会) 令和3年度の総会は、新型コロナウイルスの影響により書面で行った。役員も新しくなった。令和4年度の大きな事業はふるさとまつりとねんりんピックの手伝いになっている。ふるさとまつりは10月22日から10月23日に文化会館および広場で開催予定。ねんりんピックかながわ2022は11月12日から14日まで開催予定。第1号公園体育館にて本町は将棋交流を行いお茶などでもてなし、写真を展示して愛川町の魅力を見ていただく予定。そして今年度は友好都市である立科町との交流を行う予定。各団体については新型コロナウイル



# 審 議 経 過

( 5 / 7 )

スにより予定通り事業ができなかったのを改めて今新しい役員で計画を練り直している。

○ (スポーツ協会) 昨年5月24日より体育協会からスポーツ協会へ名称を変更して1年を迎えた。令和2年度に引き続き昨年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響でスポーツ観戦や活動の自粛、中止、規模縮小が続いた一年だった。より多くの人にスポーツ協会の名称を覚えてもらえるように組織の確立と愛川町のさらなるスポーツの発展に寄与したい。今年に入って5月16日に総会を予定していたがコロナの影響で書面となった。今年の重点的な取組みについては、現在は全国的にコロナ感染者数が減少し、町の4回目のワクチン接種も進みつつある中で、各協会においては、参加者に対するマスクの着用、消毒をしながら、先ほど話が合った通り、町の総合体育大会などすべての事業を開催する予定。野球では県大会で愛川町が優勝した。茨城県で開催される次の試合で勝てば、全国大会になるので、愛川町の名前が売れるように宣伝していきたい。そして、大きなイベントとしては、10月9日に2022あいかわスポーツ・レクリエーション・フェスティバルを、ぜひ皆さんに参加していただき、盛大に開催したい。第1回実行委員会を今月23日に開催予定。新しい生活様式を取り入れながら、いつでもどこでも誰でも楽しく親しめるスポーツ・レクリエーション・フェスティバルにしたい。その他には、スポーツ協会が主催するスポーツセミナーや年度末発行のスポーツ協会広報誌の準備を進めていく予定。コロナ禍においてもスポーツできる喜びを満喫できるような機会を提供していきたい。

○ (小中校長会) 4月のPTA総会は新型コロナウイルスの心配があり、PTA会長と相談して書面開催にした。その分6月14日に授業参観を行った。家庭数が105のうち90を超える家庭から保護者が来校された。保護者が子どもたちの学校での様子を見ることをいかに楽しみに



# 審 議 経 過

( 6 / 7 )

しているかということを実感した。小学校の運動会、中学校の体育大会は感染対策に気を付けながら規模を縮小して、無事に終えることができた。それから中学生が小学校の運動会にボランティアとして手伝いに来てくれた。中学生が小学生を上手にリードしてくれて、とてもよい運動会になった。小中一貫校教育の中でのよい取組みだと思う。これから1学期のまとめが終わり、2学期が始まると、中学生はすぐに修学旅行になるが、このままコロナの状態が落ち着いて安心して行くことができるとよいと思っている。7月21日には夏休みが始まるので地域で温かく見守ってもらいたい。

○(委員B) 昨年度はほとんどの事業が中止になってしまったので、今年度は実施することができるとよいと思う。この4月から6月は町内に生えている竹が成長する。竹の利用もされているが、多く出るタケノコの皮を利用できないかと考えている。発想の転換やアイデアは大事だと思う。

○(委員C) 以前は小中学校から声がかかることが多かったが、この2年間は、遠慮を願う通知が届き、少しさみしい思いをしている。主任児童委員は、半原公民館と中津公民館で「ひよっこサロン」という幼児の親子向けのサロンを行っている。人数制限をすることもあるが、2、3組の親子が来て、2時間ほど遊んでいく。そのときに、子どもたちの顔を見るくらいだったが、今年に入って、コロナが落ち着いてきて、運動会も体育大会も行っているという話でよかった。その前に、校庭の環境整備に私も参加して、一緒に参加する親子や、部活動に来ている子どもたちが一生懸命作業する姿を見ることができ、うれしく思った。また、遊び塾のエイサーを手伝っているが、今年は地域の夏祭りに声がかかった。2年間皆さんに見せる場がなかったが、練習も昨年10月にやっと再開でき、それまでの高学年が卒業していってしまい、下の子たちは踊れない



# 審 議 経 過

( 7 / 7 )

が、2、3人残っている子が少し踊れて、人数も増えて、練習をして1曲覚えたところで、夏祭りに招待されたことを子どもたちが本当に喜んでいる。コロナが落ち着いて、子どもたちが皆さんの前で活躍できるようになっていくとよい。

## (5) 社会教育委員の活動について

<事務局から説明> 「社会教育委員活動のためのハンドブック」と今年度の活動について

○(委員D) 令和3年度の県社会教育委員連絡協議会地区研究会があたっていた2つの開催市では、書面開催となったが、社会教育委員から「非常に勉強になった」「地区研究会をきっかけに様々なことを学んだ」という報告があった。今年度は、愛川町と箱根町で開催する。箱根町の開催日は2月16日に変更になった。勉強になると思うので、研究を進めていきたい。

○(委員E) コミュニティ・スクールに関わるが、先ほど学校から中学生が小学校に手伝いに行ったという話があったが、子どもの成長過程でとても大事。小さい子は中学生の姿から学べるし、中学生は小さい子をいたわる心がうまれる。もっともっと小中高で、子どもたち同士の交流があるとよいと思う。

## 4 その他

<事務局から説明>

(1) 県の社会教育関連事業について

(2) 令和3年度版 生涯学習ハンドブック

(3) 今後の会議日程

## 5 閉会

<木藤副議長より>

議長  
署名欄

萩原庸元





# 令和4年度第1回愛川町社会教育委員会議

(敬称略)

選出区分	氏名	備考	出欠
学識経験者	はぎわら のぶもと 萩原 庸元	社会福祉協議会会長	出席
	きとう みちこ 木藤 美智子	元教員 元公民館長	出席
	ほんだ てるみ 本多 照美	主任児童委員 子ども会連絡協議会理事	出席
学校教育関係者	かたやま ちかこ 片山 智絵子	小中学校校長会代表	出席
家庭教育関係者	とみざわ こうぞう 富沢 公三	P T A連絡協議会代表	出席
社会教育関係者	さいとう みつえ 齋藤 光枝	婦人団体連絡協議会代表	出席
	おおや なおかず 大矢 直和	子ども会連絡協議会代表	出席
	かや たかゆき 茅 孝之	青少年指導員連絡協議会代表	出席
	やまぐち あつし 山口 淳	スポーツ推進委員連絡協議会代表	出席
	のぐち まさひろ 野口 昌宏	地区健全育成組織連絡協議会代表	欠席
	なるせ かずはる 成瀬 和治	文化協会代表	出席
	こざの きみお 古座野 君夫	スポーツ協会代表	出席

(令和3年5月1日～令和5年4月30日)

